

研究内容

日本応用経済学会

2015 年度 学術論文賞 受賞論文

法政大学 社会学部

北浦 康嗣

“Treat the Earth :Natural Environment, Fertility, and Government in an Overlapping Generations Economy”

「環境は子孫から借り物である」というアメリカ原住民の言い伝えをヒントに、自然環境を子孫への遺産の問題としてとらえ、経済理論モデルを構築した。

経済理論モデルの1つである、世代重複モデルを用いて、政府が環境保全のために直接的に環境規制政策を行う、あるいは、政府は人々への環境教育を通じて環境保全活動を行うとき、上記のような公的な環境政策が、個人の意思決定に与える影響に関して分析を行った。具体的には、親世代における子どもの数の選択や、自らの現役期の消費、および、引退期のための貯蓄行動に対する影響を分析している。

分析の結果、直接的な環境政策よりも環境教育を行うことを重視したとき、親世代は自らの消費を増やし、将来のことを考える親世代は子どもの数を減らそうとする。また、自らの消費を享受できるように親世代の社会的な満足度は改善されることを明らかにしている。